徳島県立鳥居龍蔵記念博物館研究報告
Bull.Tokushima Pref. Torii Ryuzo Memorial Mus.
No. 4 ：143-166, August 2020

【資料紹介】

鳥居龍蔵の愛知調査関連資料Ⅱ

岡本　治代[1]

はじめに

鳥居龍蔵は，昭和 4 年（1929）から 5 年にかけて，4 回にわたって愛知県内の貝塚や古墳，巨石遺跡などの調査を行っている。筆者は旧稿（岡本 2017）において，徳島県立鳥居龍蔵記念博物館が所蔵する鳥居の愛知調査関連資料のうち，古代瓦の拓本を紹介した。本稿では，これに引き続き，縄文時代から古墳時代を中心とする時期の遺物の拓本及びスケッチの一部を紹介する。

1　愛知調査の概要（表１）

資料の紹介を行う前に，その前提として，鳥居の愛知調査に関する著作（鳥居 1929a･b･c･d，1930a･b，東京考古学会編 1930）から推定される調査の行程を整理しておきたい。

第１回調査（昭和４年 11 月 15 日～ 11 月 23 日）　昭和 4 年 11 月 15 日から 22 日にかけて，現在の名古屋市から稲沢市，小牧市，西尾市，豊川市などを訪れ，最終日の 23 日には豊川を遡って長野県境まで調査を行っており，尾張地域から三河地域全域を調査域としている。また，対象となった遺跡も，ストーンサークルやメンヒル，貝塚，古墳，寺院跡と幅広い。

第２回調査（昭和４年 12 月７日～ 10 日）　第 1 回調査から約 1 か月後の，12 月 7 日から 10 日にかけて，犬山市，小牧市といった尾張地域及び岐阜県で調査を行っている。調査対象は古墳やストーンサークル等である。

第３回調査（昭和４年 12 月 23 日～ 25 日）　第 2 回調査から約 2 週間後の 12 月 23 日から 25 日にかけて名古屋市及び清須市で調査を行っている。名古屋市の鶴舞公園内や，清州市の貝塚，ストーンサークルやメンヒルの精査，東谷山山頂の古墳の見学などを行っている。

第４回調査（昭和５年４月 26 日～５月２日）　昭和 5 年 4 月 26 日から 5 月 2 日にかけて，西尾市のニラヤマ貝塚，八王子貝塚，「大塚」において発掘調査を行っている。

以上のように，鳥居は，第 1 回調査において愛知県全域を面的に調査した後に，第 2 回調査で小牧・犬山市から岐阜県，第 3 回調査で名古屋市周辺，第 4 回調査で西尾市をそれぞれ対象地域として，集中的な調査を行ったということができる。

2　資料の内容と採集地及び採集時期（表２・図１～ 38）

それでは，採拓された資料の内容と，拓本の余白部分に注記された出土地などの情報を整理するとともに，注記から推定される調査地（資料採集地）及び収集時期を考察したい。

１～４：縄文土器の拓本である「名倉村大字大名倉字下谷」との注記がある。「名倉村」は現在の北設楽郡設楽町北部に相当する。

先述の鳥居の著作では，具体的に設楽町の地名はみられないが，昭和 4 年 11 月 23 日に豊川を遡り，

[1] 徳島県立鳥居龍蔵記念博物館

表１　愛知調査行程

回数	年	月	日	訪問地	調査遺跡・調査内容など	文献
第1回	1929（昭和4）	11	15	名古屋➡犬山	–	鳥居龍蔵 1929「尾参通信」『武蔵野』14巻第5号，誠志堂印刷出版部
			16	丹波郡二の宮神社（現犬山大県神社か）附近	・「尾張山下」との線刻のある須恵器，およびその出土地を調査	
			17	中島郡一宮附近（現 稲沢市）	・前方後円墳，弥生土器，石器などを見学 ・ストーンサークル・メンヒルを発見 ・「弥生土器に人形を彫ったもの」を見学	
			18	小牧山一帯➡名古屋	・前方後円墳を見学 ・漢鏡，六朝鏡を見学 ・小牧山上でストンサークルを確認	
			19	西尾・岡崎附近	・西尾の貝塚（＝八王子貝塚）・櫻井の貝塚（＝堀内貝塚）・古墳を見学	
			20	矢作川流域	・古墳の調査	
			21	豊橋など矢作川流域	・矢作川流域の古墳を見学	
			22	岡崎➡矢作川以西地域➡豊橋➡豊川➡豊橋	・豊橋：貝塚・銅鐸出土地の調査，前方後円墳を2基程度見学（馬具が多く存在） ・豊川：国府，国分寺，尼寺等を見学，夜間拓本を作成	
			23	豊橋➡長野県境➡東京	・豊川を溯り，長野県境へ移動	
第2回	1929（昭和4）	12	7	名古屋	・きみ子・龍次郎とともに名古屋に滞在	・鳥居龍蔵 1929「尾張の旅より」『武蔵野』14巻 第6号，誠志堂印刷出版部 ・東京考古学会編 1930「学会消息」『考古学』第1巻第1号，示人社版
			8	名古屋➡犬山➡美濃土田（現 岐阜県可児市土田）➡日本ライン➡犬山➡美濃国鵜沼村（現岐阜県各務原市）西町➡栗栖村（現 犬山市）	・美濃土田：十三塚や石槨の露出した古墳などを見学 ・犬山：犬山城に登り，針綱神社宝物を見学 ・美濃国鵜沼村西町：二ノ宮神社境内の古墳を調査 ・犬山栗栖村：昨年発見したストンサークルを調査	鳥居龍蔵 1929「尾張の旅より」『武蔵野』14巻第6号，誠志堂印刷出版部
			9	美濃➡犬山➡小牧	・美濃国鵜沼村西町：二ノ宮神社で本殿にあったというメンヒル様の石に梵字を刻したものを拓本 ・犬山➡小牧山：途中，岩崎山の古墳やストンサークルを調査。小牧町の小牧山に登る。ここで先日発見のストーンサークルを調査	
			10	小牧付近➡名古屋➡東京	・小牧附近，尾張神社，物部神社，その他古墳や採集品を見学	
第3回	1929（昭和4）	12	23	東京➡名古屋	・龍次郎を助手として名古屋に向かう	鳥居龍蔵 1929「名古屋通信」『武蔵野』14巻第6号，誠志堂印刷出版部
			24	名古屋➡清州➡中島郡三宅村➡名古屋	・清洲市：東部の2ヶ所の貝塚で発掘（弥生式土器を発掘） ・中島郡三宅村：ストーンサークル→古木曽川の跡を見学 ・名古屋:鶴舞公園内の貝塚を発掘→夜に名古屋経済会で「日本の有史以前に就いて」と題する講演	鳥居龍蔵 1930「尾張の二日間」『武蔵野』15巻第3号，誠志堂印刷出版部
			25	名古屋➡尾張平野➡東春日井郡（現 名古屋市守山区）志段味村➡篠岡村（現 小牧西部）下末➡篠岡村大山➡名古屋➡東京	・尾張平野：前方後円墳・円墳を見学 ・東春日井郡志段味村：東谷山山頂の前方後円墳・陪塚，その下の頂上の前方後円墳を見学。これらに埴輪を確認。また，中腹以上に，ストーンサークルやメンヒル，ドルメンと類似した巨石を発見 ・東春日井郡篠岡村下末：「陥を焼いた跡」を探す ・東春日井郡大山:大山峰正福寺跡を見学，山上ストーンサークル（安藤專七氏発見）を調査。仏像，古瓦などを見学	鳥居龍蔵 1930「尾張の二日間」『武蔵野』15巻第3号，誠志堂印刷出版部
第4回	1930（昭和5）	4	26	東京➡愛知	–	鳥居龍蔵 1930「三河通信」『武蔵野』15巻第5号，誠志堂印刷出版部
			27	西尾	・ニラヤマ貝塚発掘（凹石，石剣，石斧，垂石，砥石等，骨鏃，薄手派の縄文土器，鹿猪の首の骨が出土），國學院大学学生中川徳治氏が助手	
			28	西尾	・ニラヤマ貝塚発掘	
			29			
			30		・「大塚」を発掘 ・薬師禅寺の善光寺式阿弥陀三尊像見学	
		5	1	西尾	・八王子貝塚発掘	
			2	西尾➡名古屋	・八王子貝塚発掘	
			3	名古屋➡東京	・帰京	

表２　資料一覧

番号	資料名	注記	現在の地名	推定される出土遺跡
1	縄文土器	名倉村大字大名倉字下谷	北設楽郡設楽町北部	?
2	縄文土器	名倉村大字大名倉字下谷	北設楽郡設楽町北部	?
3	縄文土器	名倉村大字大名倉字下谷	北設楽郡設楽町北部	?
4	縄文土器	名倉村大字大名倉字下谷	北設楽郡設楽町北部	?
5	縄文土器	段嶺村大字田峯字鍛冶澤	北設楽郡設楽町南西部	?
6	縄文土器	段嶺村大字田峯字カヂザワ	北設楽郡設楽町南西部	?
7	縄文土器	段嶺村大字田峯字カヂサワ	北設楽郡設楽町南西部	?
8	銅鐸	段嶺村大字田峯字カヂサワ	北設楽郡設楽町南西部	?
9	縄文土器	段嶺村大字田峯字カジサワ	北設楽郡設楽町南西部	?
10	縄文土器	段嶺村大字田峯字カヂサワ	北設楽郡設楽町南西部	?
11	縄文土器	段嶺村大字田峯字カヂサワ	北設楽郡設楽町南西部	?
12	縄文土器	段嶺村大字田峯字カヂサハ　底　厚サ	北設楽郡設楽町南西部	?
13	内行花文鏡	西春日井郡小木村　字コウヤシキ　甲屋敷	小牧市小木	甲屋敷古墳
14	鳥文鏡	豊橋市　車田　~~丸山~~　字西郷　出土　古墳か経塚？　前方後円ノ盛土	豊橋市大岩町車田・西郷	?
15	乳文鏡	碧海郡　宇頭　薬王寺	岡崎市宇頭北町　薬王寺	宇頭大塚古墳
16	乳文鏡	宇頭　薬王寺	岡崎市宇頭北町　薬王寺	宇頭大塚古墳
17	金銅装帯金具	額田郡幸田村　青塚	犬山市青塚	青塚古墳
18	金銅装帯金具	額田郡幸田村　坂崎　青塚	犬山市青塚	青塚古墳
19	須恵器	額田郡幸田村　坂崎　青塚	犬山市青塚	青塚古墳
20	埴輪	額田郡幸田村　坂崎　青塚	犬山市青塚	青塚古墳
21	瓦	額田郡幸田村　~~坂崎~~　久保田	額田郡辛田町久保田	?
22	U 字鋤・鍬先	幸田町久保田　巴瓦ト共ニ出ル	額田郡辛田町久保田	?
23	縄文土器	宝飯郡小坂井町　川出清彦方出土	豊川市小坂井町	?
24	縄文土器	宝飯郡小坂井町　川出清彦方出土　厚手カ	豊川市小坂井町	?
25	縄文土器	宝飯郡小坂井町　川出清彦方出土　土器ノ底	豊川市小坂井町	?
26	縄文土器	宝飯郡小坂井町　川出清彦方出土	豊川市小坂井町	?
27	縄文土器	宝飯郡小坂井町　川出清彦方出土　邸内	豊川市小坂井町	?
28	土偶	A　土偶裏　宝飯郡小坂井村　川出清彦方　出土	豊川市小坂井町	?
29	土偶	B　土偶表　宝飯郡小坂井村　川出清彦方　出土	豊川市小坂井町	?
30	縄文土器	西尾上町貝塚　オモテ　ウラ	西尾市上町	八王寺貝塚
31	縄文土器	西尾上町貝塚	西尾市上町	八王寺貝塚
32	縄文土器	西尾上町貝塚	西尾市上町	八王寺貝塚
33	縄文土器	西尾上町貝塚	西尾市上町	八王寺貝塚
34	縄文土器	西尾上町貝塚	西尾市上町	八王寺貝塚
35	縄文土器	西尾上町貝塚	西尾市上町	八王寺貝塚
36	縄文土器	西尾上町　厚サ	西尾市上町	八王寺貝塚
37	縄文土器	西尾上町貝塚	西尾市上町	八王寺貝塚
38	縄文土器	西尾上町貝塚	西尾市上町	八王寺貝塚

信州境まで行ったとの記録があることから，この際に採集されたものである可能性が想定される。
5～12：縄文土器（5～7・9～12）及び銅鐸（8）の拓本である。「段嶺村大字田峯字鍛冶澤（カジサワ）」との注記がある。「段嶺村」は，現在の北設楽郡設楽町南西部に該当する。1～4と同様に，昭和4年11月23日の調査に関連する資料の可能性が高い。
13：内行花文鏡の拓本である。「西春日井郡小木村　字　甲屋敷」との注記があることから，現在の小牧市小木に所在する甲屋敷古墳出土資料と推定される。小牧市では昭和4年11月18日及び12月9日に調査を行っているが，特に「漢鏡・六朝鏡を見た」との記述がある11月8日の調査に関連する可能性が高い。
14：鳥文鏡の拓本である。「豊橋市車田~~丸山~~字西郷出土」との注記がある。現在の豊橋市大岩町車田及び西郷の出土資料と考えられる。昭和4年11月21日～23日の豊橋での調査時のものと推定される。
15・16：乳文鏡の拓本である。「碧海郡　宇頭　薬王寺」との注記があり，現在の岡崎市宇頭北町薬王寺境内にある宇頭大塚古墳出土資料と考えられる。昭和4年11月19日の調査時のものであろう。
17～20：17・18は金銅装帯金具，19は須恵器，20は埴輪の拓本である。「額田郡幸田村　坂崎　青塚」との注記もあることから，現在の額田郡幸田町青塚に所在する青塚古墳出土遺物と推定される。鳥居は，昭和4年11月22日に東三河で調査を行っていることから，このときの資料と考えられる。
21：巴文鳥衾瓦の拓本である。「額田郡幸村　~~坂崎~~　久保田」との注記があり，17～20と同様に昭和4年11月22日の調査時のものである可能性が想定される。
22：材質を推定するのが難しいが，U字鋤・鍬先の平面図の可能性がある。「巴瓦ト共ニ出ル」との注記のとおり，巴瓦と共伴したとすれば，二次堆積での出土か，中世以降の時期の遺物とも考えられる。また，「幸田町久保田」との注記があることから，現在の額田郡幸田町久保田で出土したものと推定される。昭和4年11月22日の調査時のものである可能性が想定される。
23～29：土偶及び縄文土器の拓本である。「宝飯郡小坂井町　川出清彦方出土」との注記がある。宝飯郡小坂井町は，現在の豊川市小坂井町にあたる。 昭和4年11月22日の豊川での調査に関連する資料と考えられる。
30～38：縄文土器の拓本である。「西尾上町貝塚」との注記があり，現在の西尾市八王寺貝塚出土資料と推定される。昭和4年11月19日もしくは昭和5年4月29日から5月1日の八王寺貝塚における調査時のものと考えられる。

おわりに

以上のとおり，本稿で紹介した資料は，第1回調査時（昭和4年11月15日～23日）の，額田郡幸田町青塚古墳出土資料，岡崎市宇頭町宇頭大塚古墳出土資料，小牧市甲屋敷古墳出土資料，第1回もしくは4回調査時（昭和5年12月23日～25日）の八王子貝塚出土資料の拓本などで構成されていることが推定された。また，これまで他の文献では具体的な地名の挙がっていなかった，現 設楽町の縄文土器及び銅鐸の拓本も確認できた。鳥居本人が採集したのか，協力者によって提供されたものかは不明だが，鳥居による愛知調査の実態を把握するうえで，他の文献の情報を補完する資料といえよう。

当館では，愛知調査関連資料の整理を順次進めている。今後も継続的に資料の紹介を行いたい。

参考文献

岡本治代　2017 「鳥居龍蔵の愛知調査関連資料」『徳島県立鳥居龍蔵記念博物館研究報告』第 3 号 , 徳島県立鳥居龍蔵記念博物館

東京考古学会編　1930 「学会消息」『考古学』第 1 巻第 1 号 , 東京考古学会

鳥居龍蔵　1929a 「愛知縣の上代史蹟を訪ひて」『愛知教育』第 495 号 , 愛知教育会

鳥居龍蔵　1929b 「尾参通信」『武蔵野』第 14 巻第 5 号 , 誠志堂印刷出版部

鳥居龍蔵　1929c 「尾張の旅より」『武蔵野』第 14 巻第 6 号 , 誠志堂印刷出版部

鳥居龍蔵　1929d 「名古屋通信」『武蔵野』第 14 巻第 6 号 , 誠志堂印刷出版部

鳥居龍蔵　1930a 「尾張の二日間」『武蔵野』第 15 巻第 3 号 , 誠志堂印刷出版部

鳥居龍蔵　1930b 「三河通信」『武蔵野』第 15 巻第 5 号 , 誠志堂印刷出版部

西尾市教育委員会　2000 「第 3 節　八王子貝塚の調査研究史」『八王子貝塚Ⅰ―縄文時代中期・後期前葉編―』愛知県西尾市教育委員会

（2018 年 12 月 24 日脱稿，2020 年 7 月 16 日初校に際し一部修正）

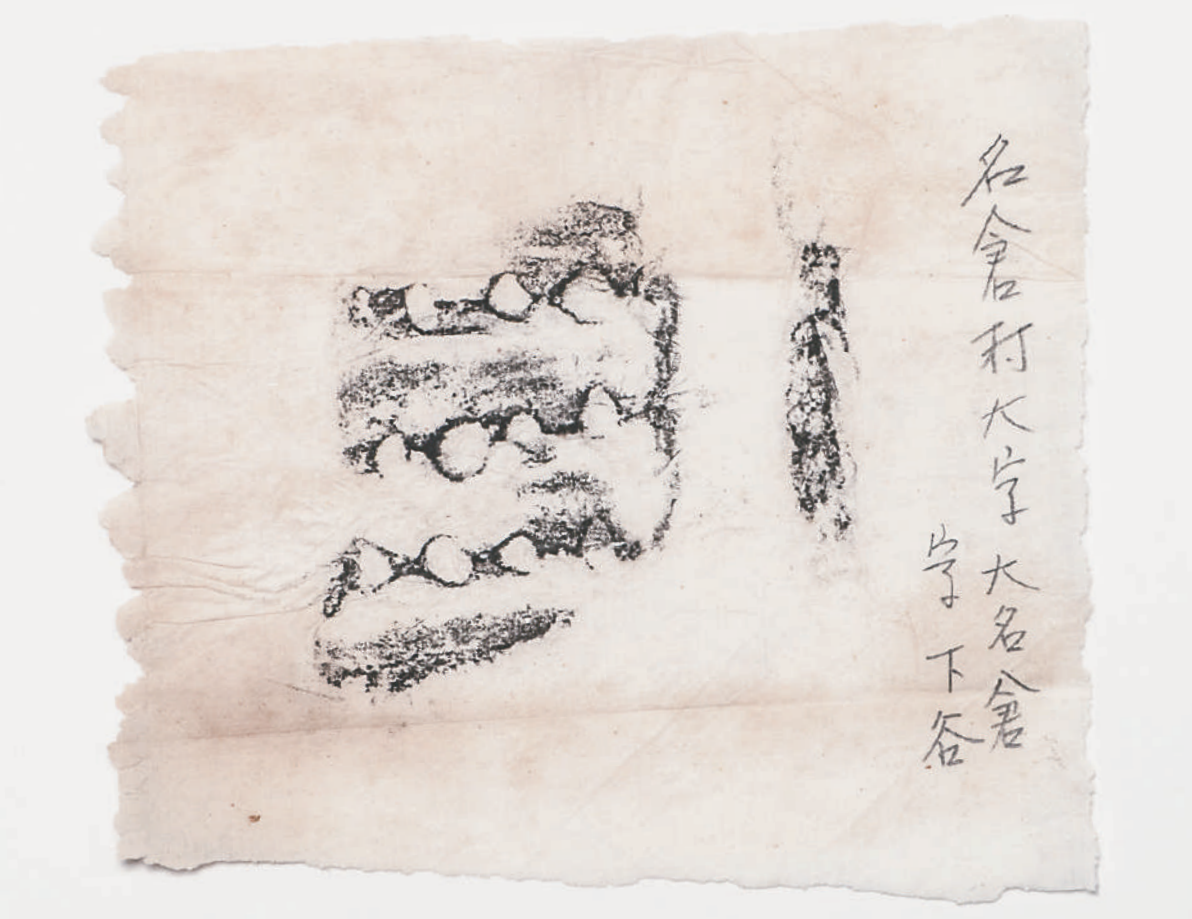

図１　縄文土器

図２　縄文土器

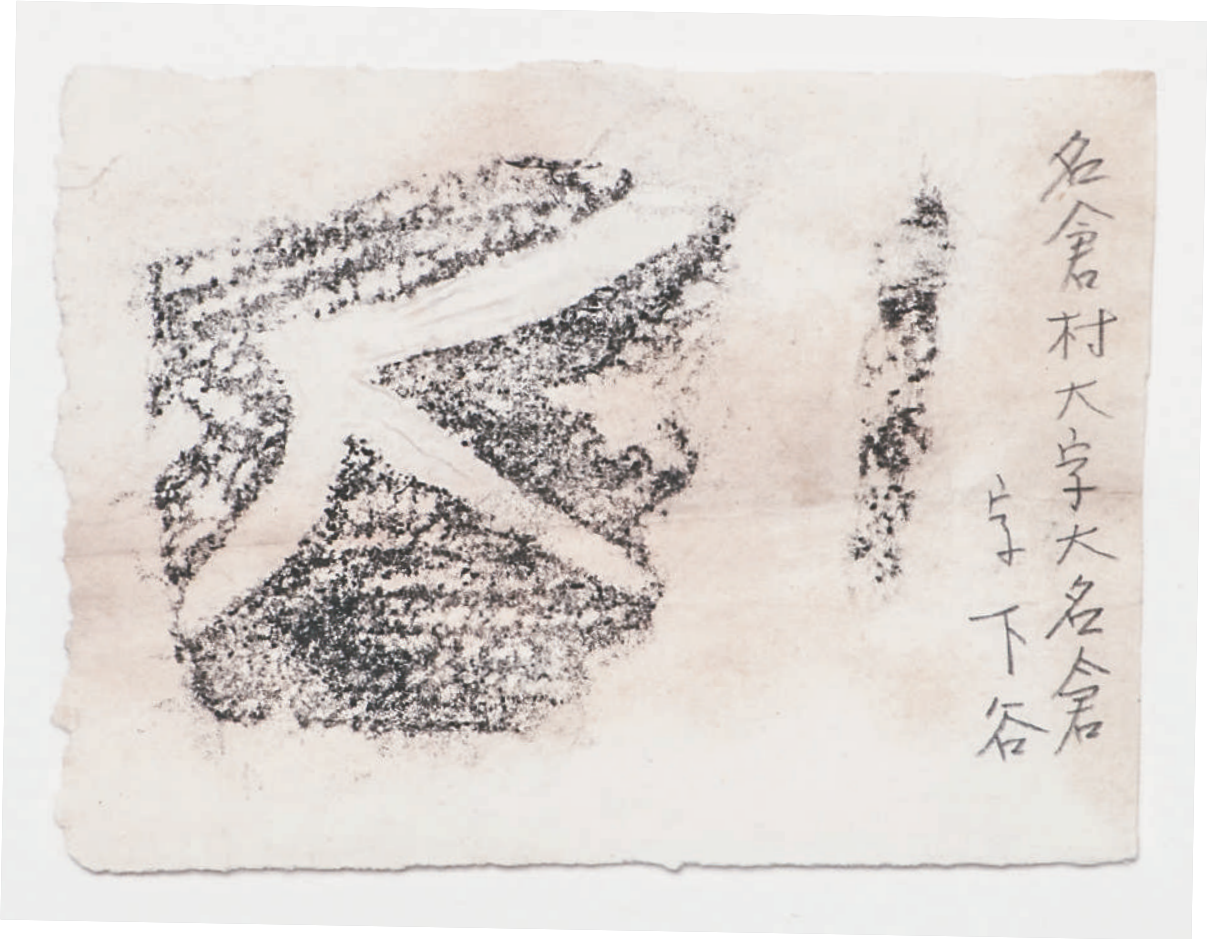

図３　縄文土器

図４　縄文土器

図５　縄文土器

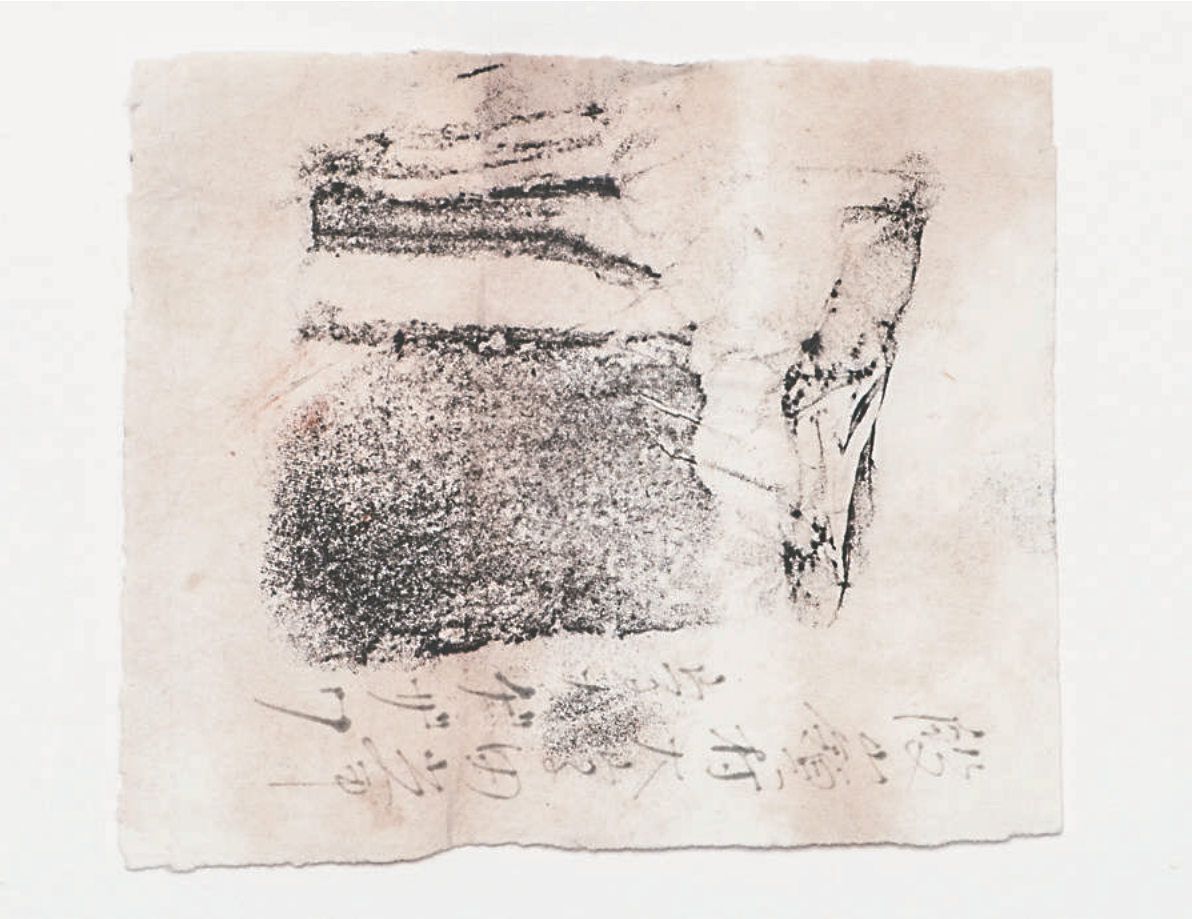

図６　縄文土器

図７　縄文土器

図８　銅鐸

図 9　縄文土器

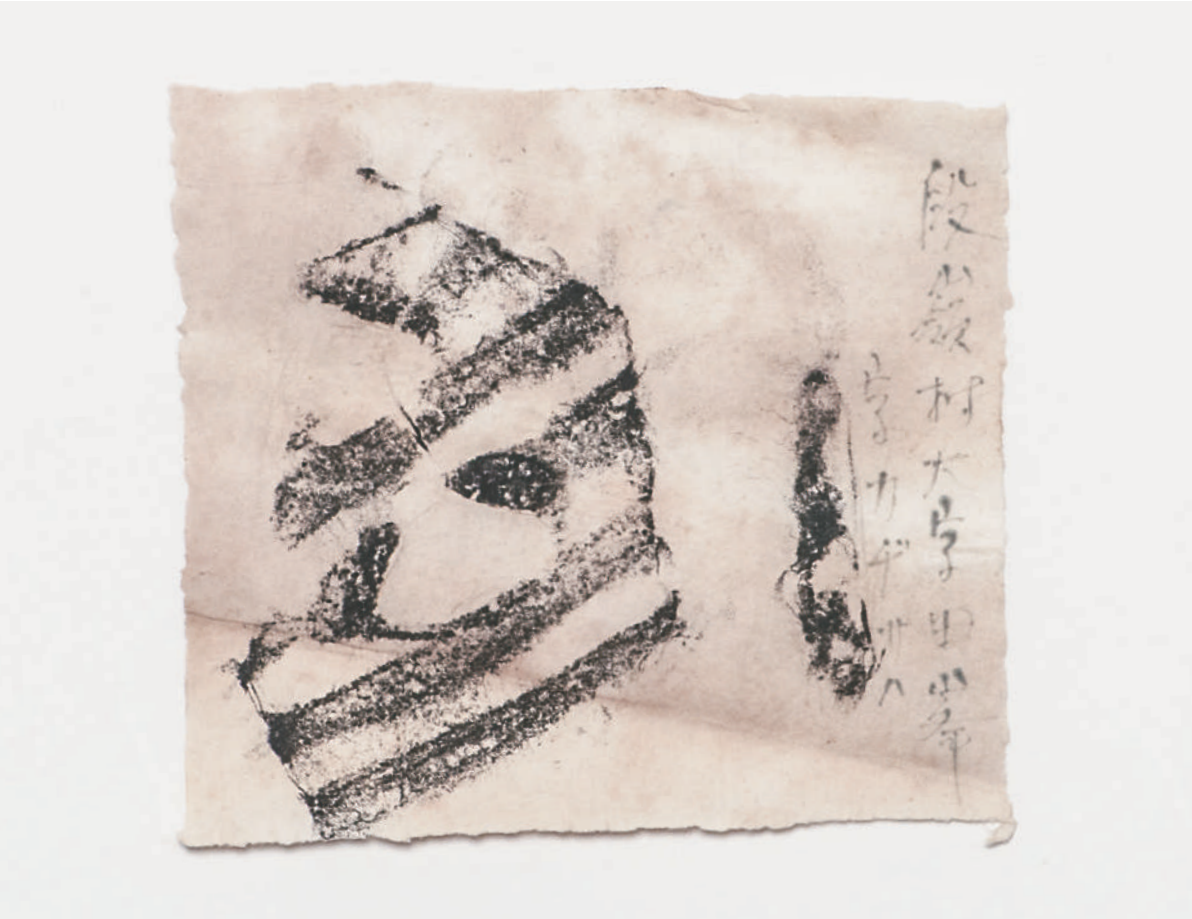

図 10　縄文土器

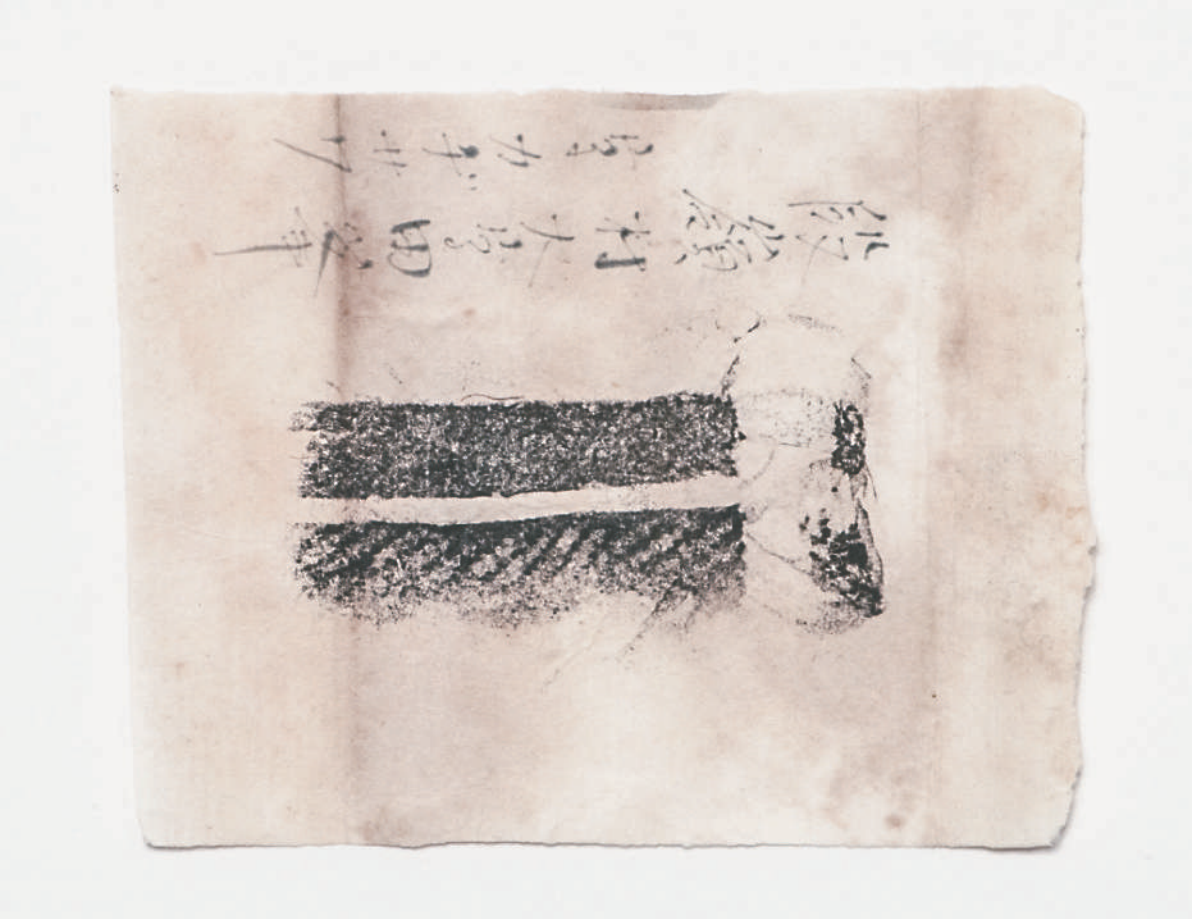

図 11　縄文土器

図 12　縄文土器

図 13　内行花文鏡

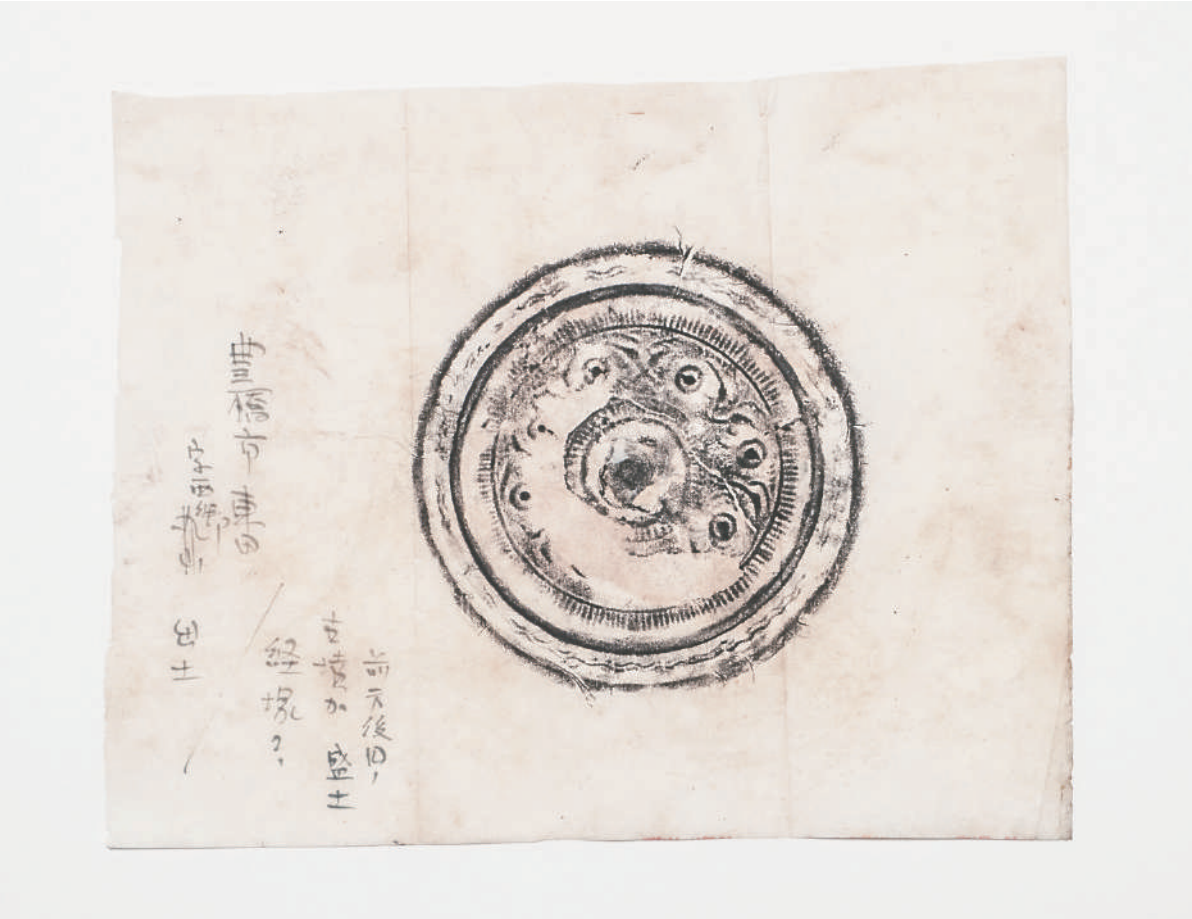

図 14　鳥文鏡

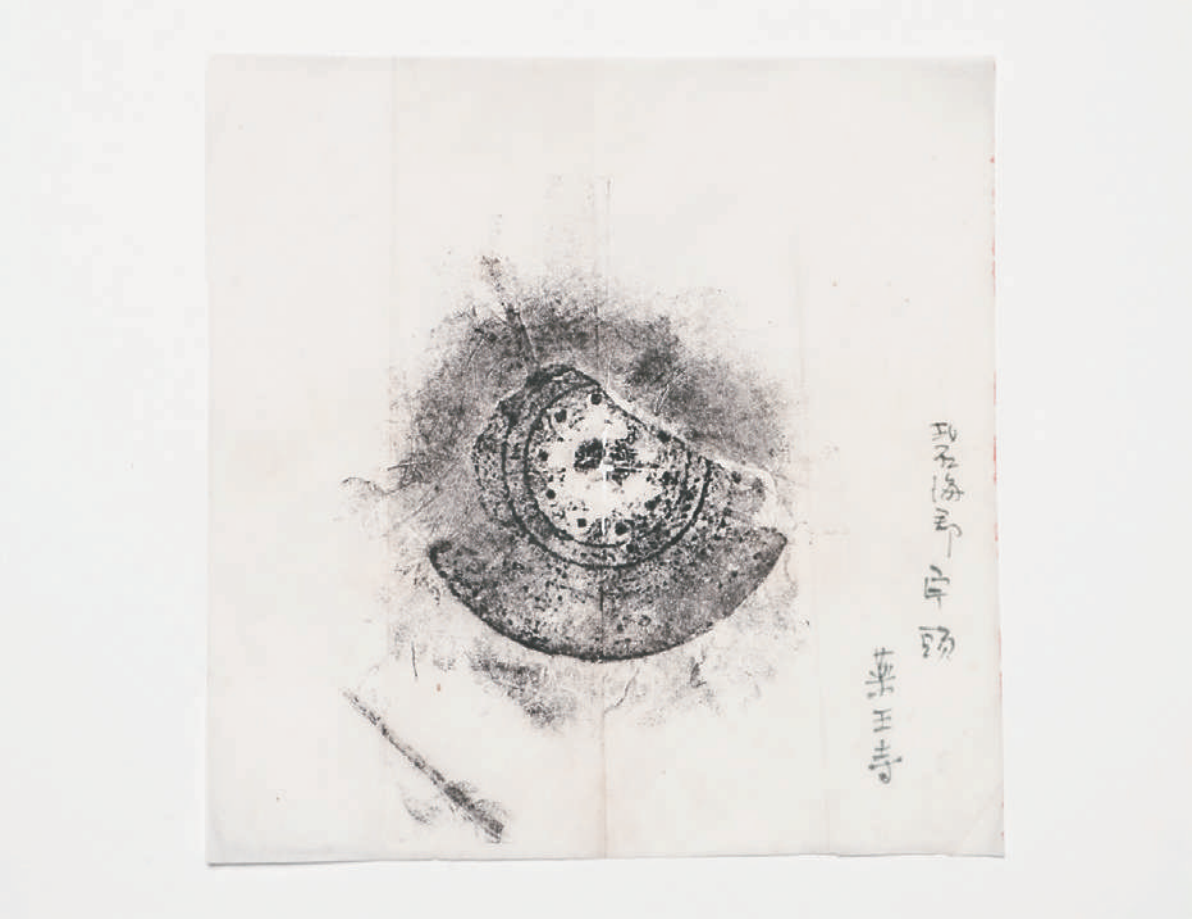

図 15　乳文鏡

図 16　乳文鏡

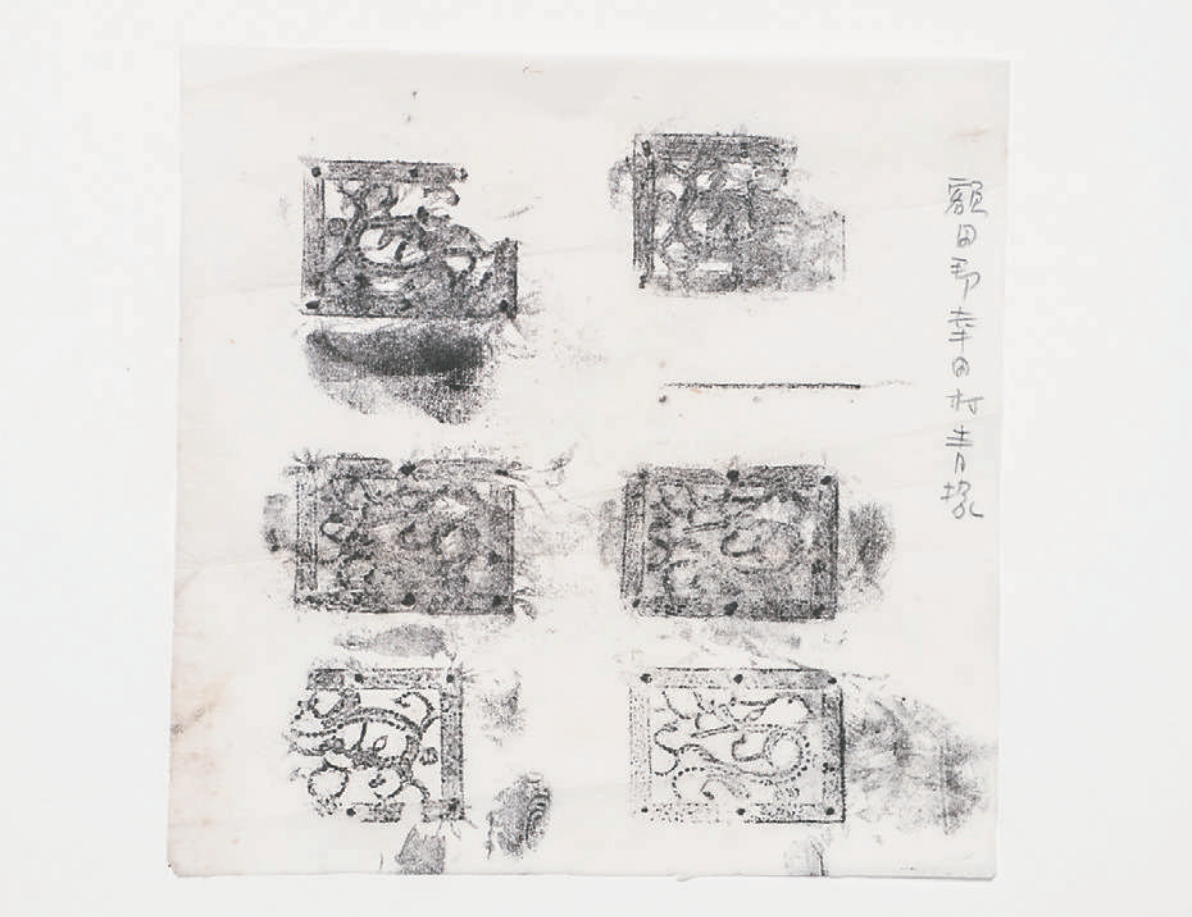

図 17　金銅装帯金具

図 18　金銅装帯金具

図 19　須恵器

図 20　埴輪

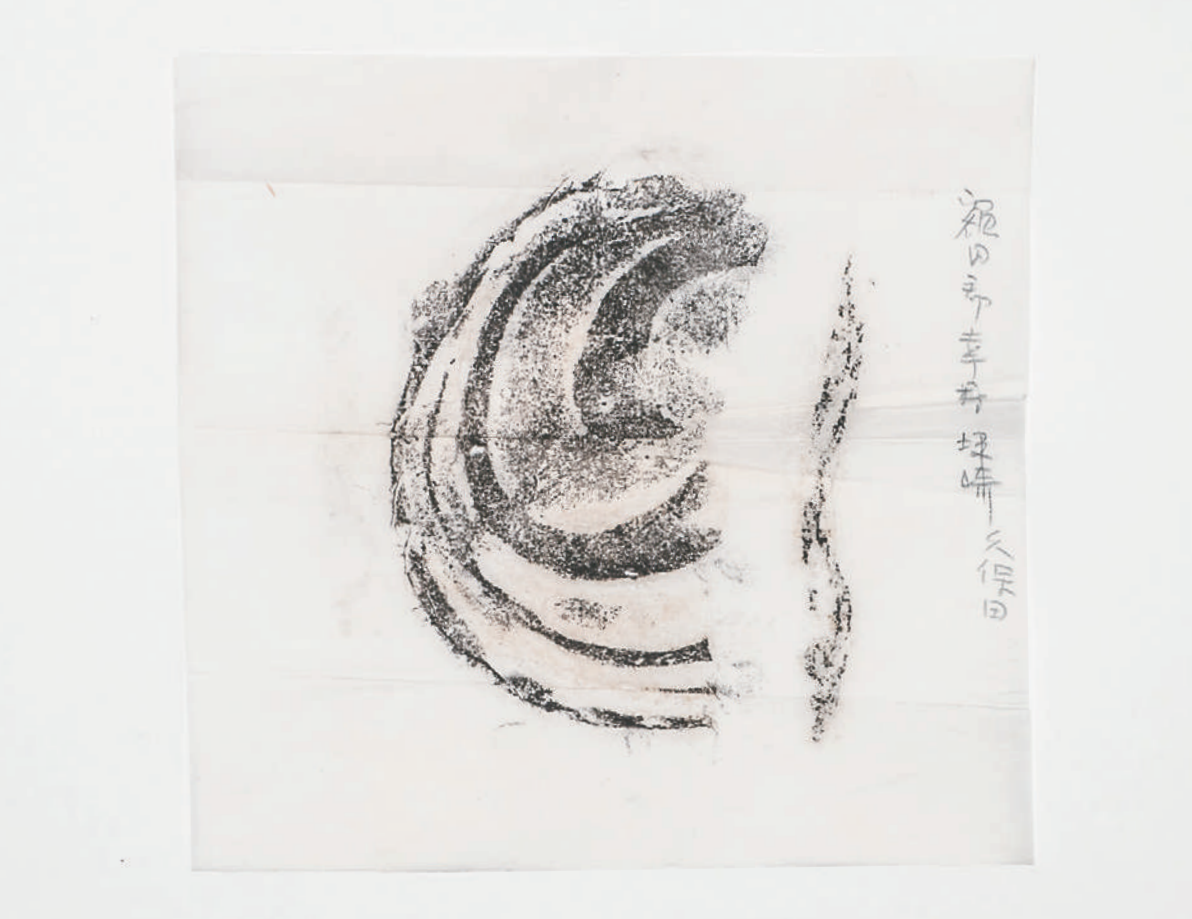

図 21　瓦

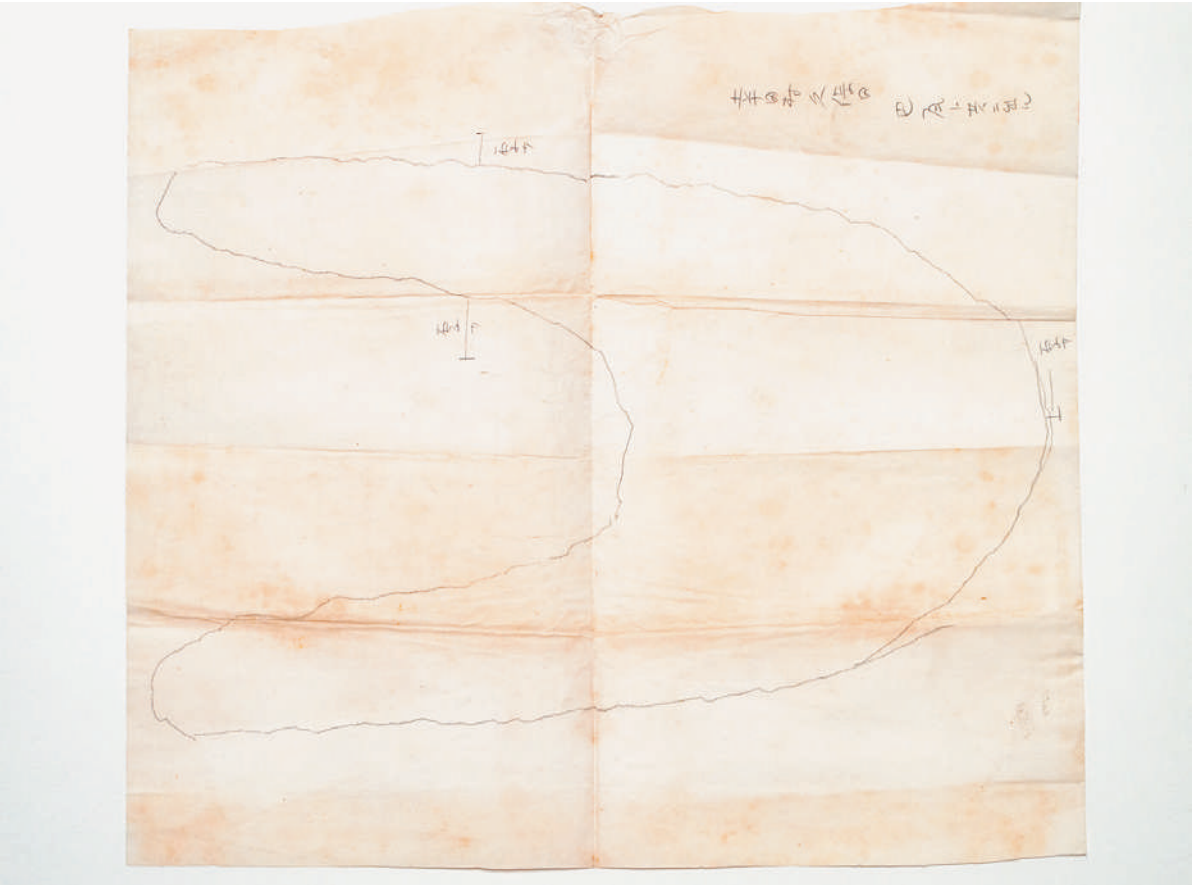

図 22　U 字鍬・鍬先

図 23　縄文土器

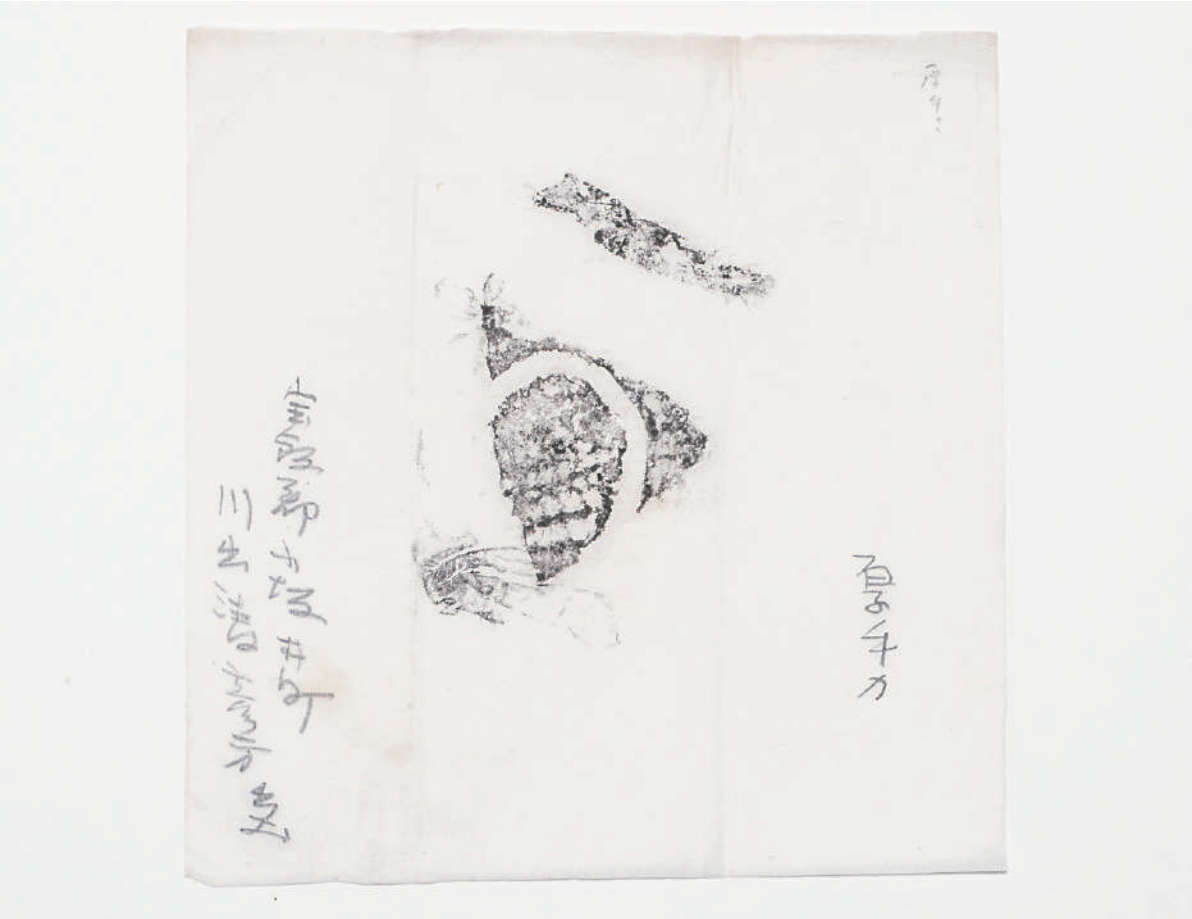

図 24　縄文土器

図 25　縄文土器

図 26　縄文土器

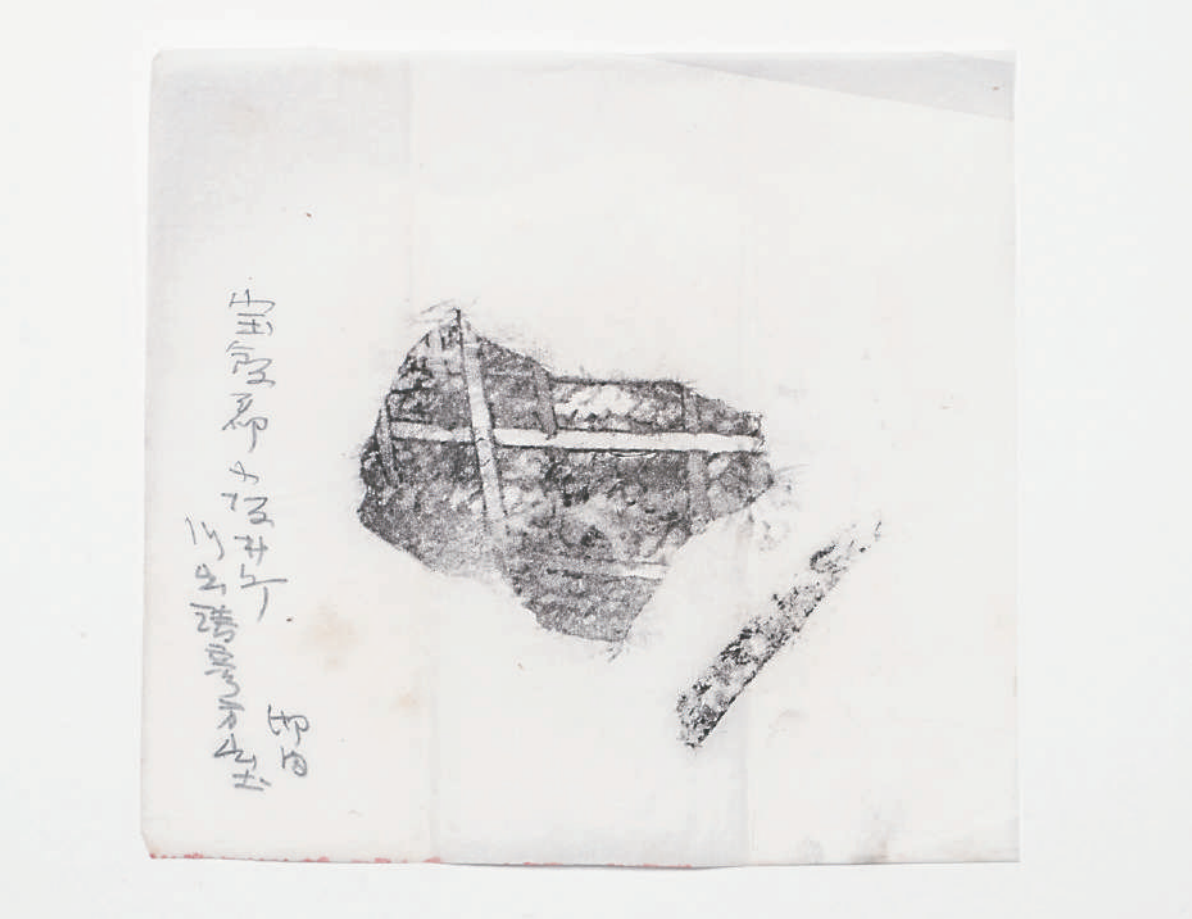

図 27　縄文土器

図 28　土偶

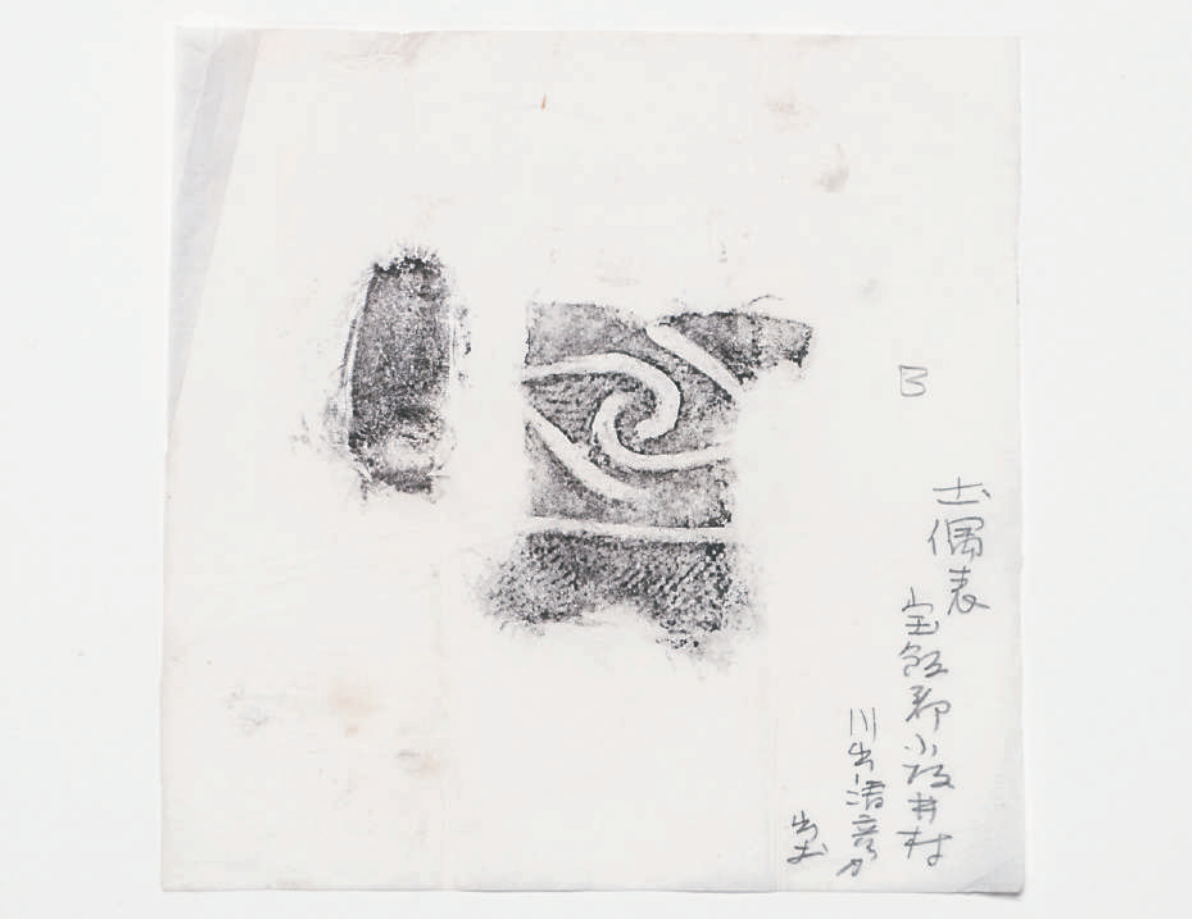

図 29　土偶

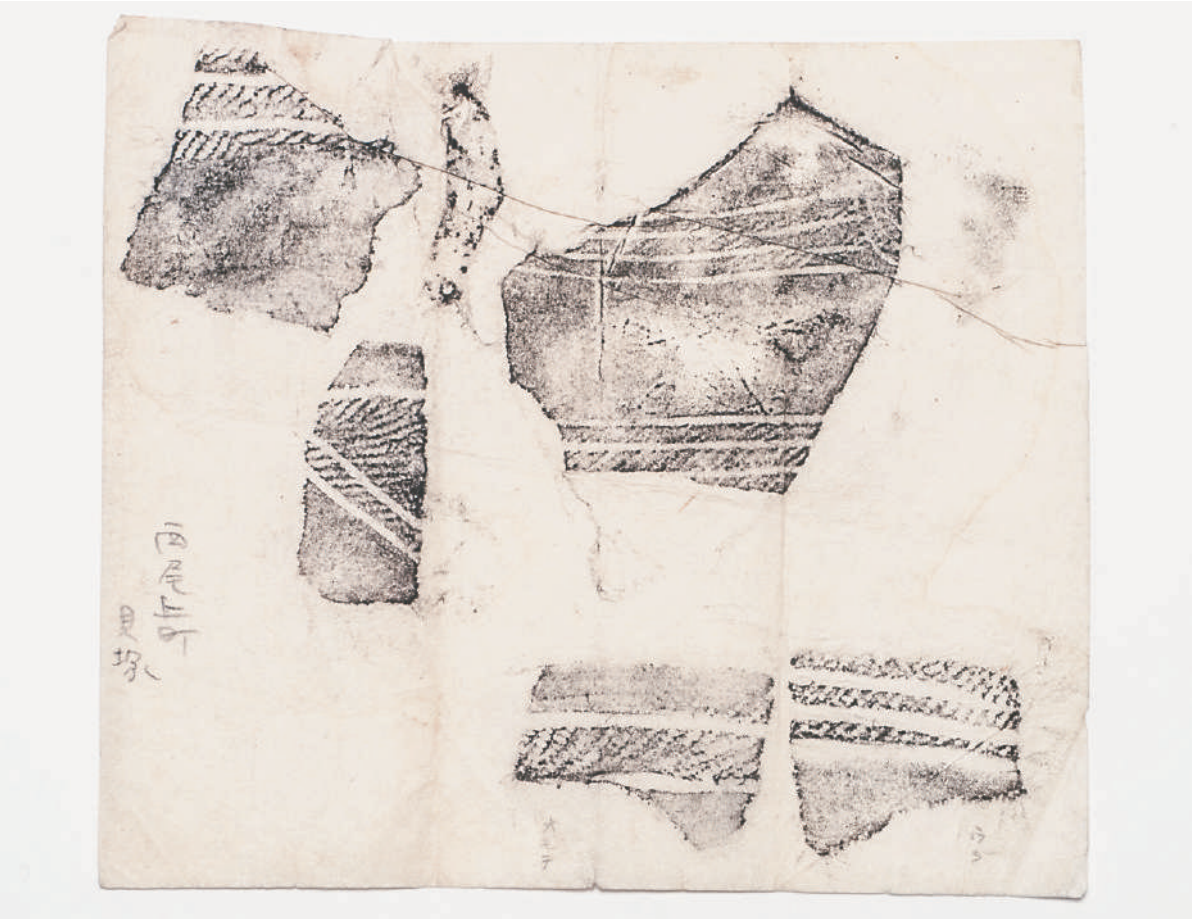

図 30　縄文土器

図 31　縄文土器

図 32　縄文土器

図 33　縄文土器

図 34　縄文土器

図 35　縄文土器

図 36　縄文土器

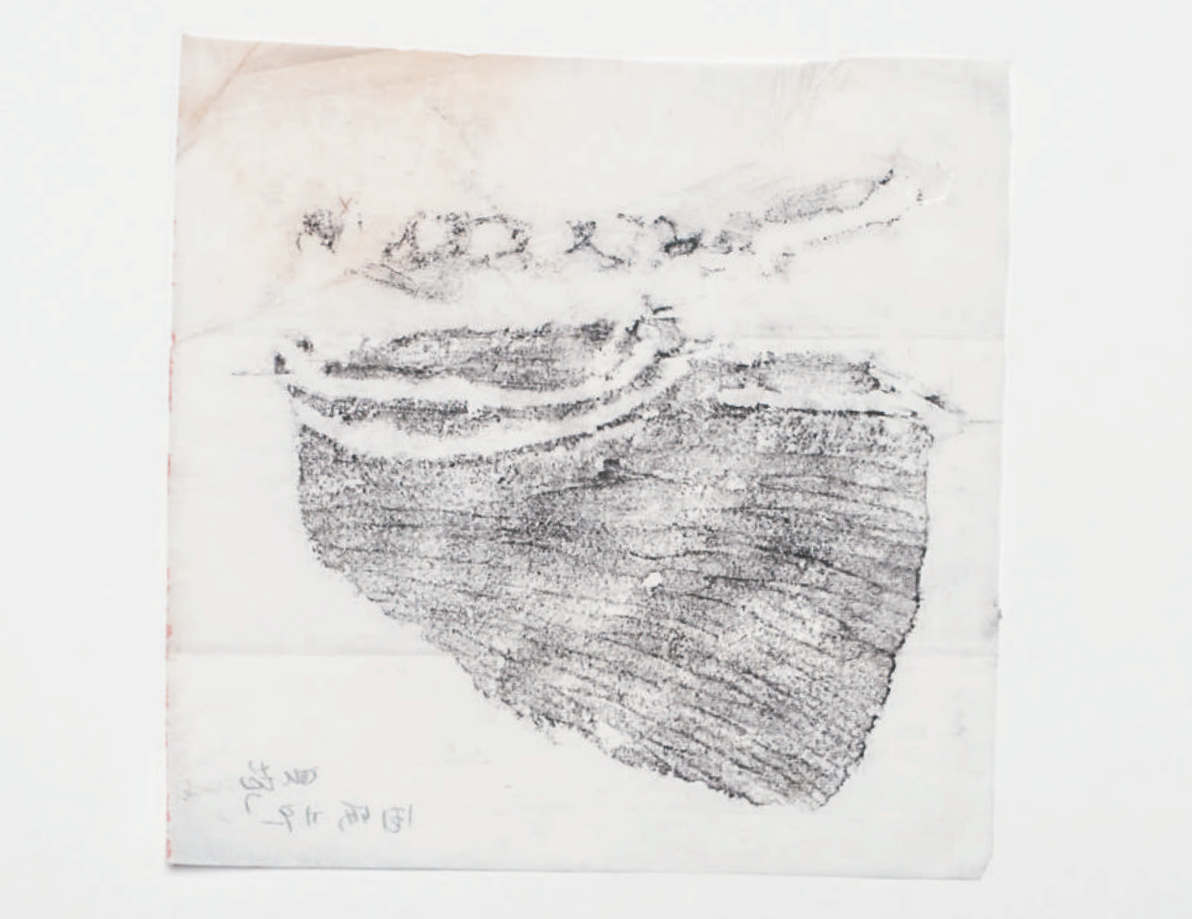

図 37　縄文土器

図 38　縄文土器